

ジビエ利用の推進

- 年間130万頭捕獲されているイノシシ・シカは、これまで廃棄されていましたが、捕獲された鳥獣を地域資源(ジビエ等)として利用し、農山村の所得に変える取り組みを推進しています。
- ジビエは、レストランや宿泊施設、学校給食、ECサイトでの販売のほかにも、ペットフードでの利用も進んでいます。
- より安全なジビエの提供と、消費者のジビエに対する安心の確保を図るため、国産ジビエ認証制度が制定されており、令和6年11月末現在、29施設(九州9施設)が認証されています。



処理作業



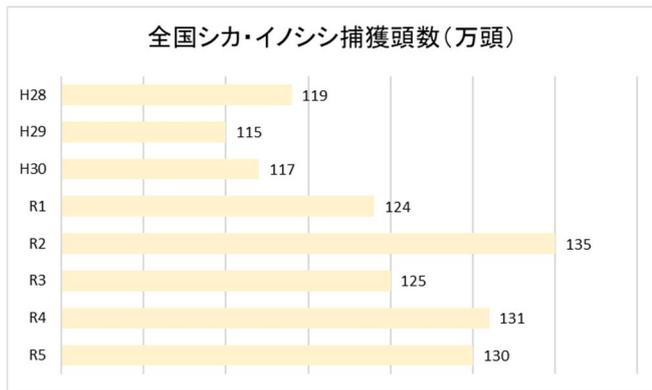
ジビエ



学校給食



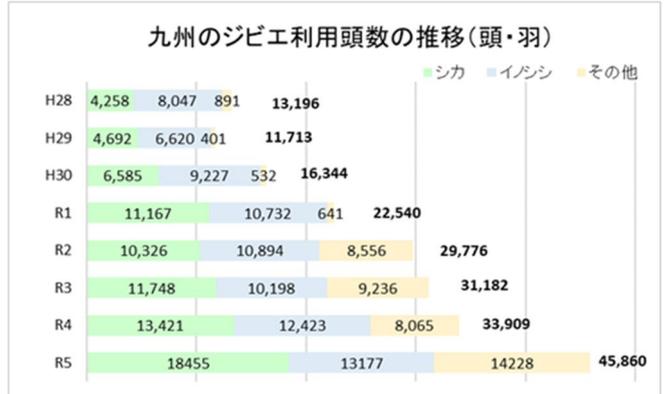
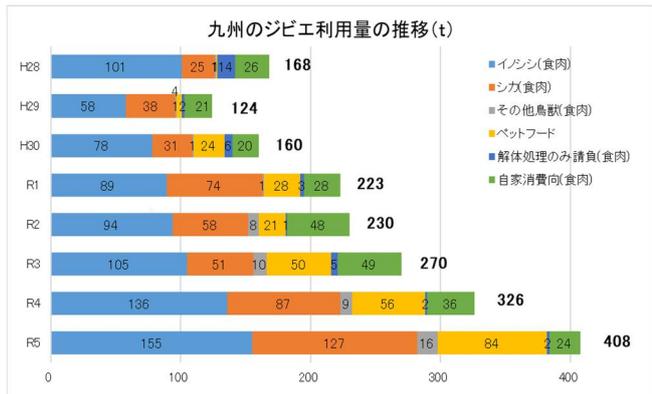
ペットフード



国産ジビエ認証のマーク



全国ジビエフェア



(参考)農林水産省HP

○鳥獣被害の現状と対策

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/240605.html>



○捕獲鳥獣のジビエ利用を巡る最近の状況

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/suishin.html>

